



2013年12月号

今月のテーマは、
「極地の植物、湖底のコケ坊主」
です。



今月は「極地の植物、湖底のコケ坊主」を紹介するよ！
紹介してくれるのは、伊村智（いむら さとし）さんです。

南極大陸では、厳しい低温と乾燥のため植物がほとんど見られず、
花の咲く植物はわずか2種類が南極半島に生育しているだけです。
最も広く見られるのはコケと地衣類ですが、これらも一年に1mm
も成長できず、地面に張り付くように生きています。一方で、雪解
け水などが溜まった池では、湖底一面にコケ、藻類、クマムシ、バ
クテリアなどからなる生態系が広がっています。コケが中心となっ
て出来ているコケ坊主は、1000年かけて高さ80cmにも成長
し、湖底に幻想的な光景を作り上げています。



伊村さんはどんなお仕事をしていますのですか？

砂漠のように乾燥した南極の陸上環境で、コケなどの小さな生物がど
のように生きているのかを調べています。特に、南極の池の中に見つ
かったコケ坊主と、その中にすむバクテリアやクマムシなどが形作る生態
系の仕組みの解明を目指し、研究を進めています。